

総理大臣 野田佳彦 様
経済産業大臣 枝野幸男 様
原発担当相 細野豪志 様
官房長官 藤村 修 様

緊急要請 大飯原発の拙速な再稼働策動の即時中止を求める

私たちはキリスト者として、3.11福島原発事故によってもたらされた惨状と今も故郷を離れ、職を失い、放射能汚染に怯える人たちの苦しみを思い、子供たちの未来に再び放射能の被害を引き起こさないために、戦後の原発体制そのものを根本的に捉え直すべきだと考え以下の3点を要請いたします。

1. フクシマ原発事故の徹底した原因究明を求めます

3.11フクシマ原発事故の原因が津波によるのか、地震によるのか、その原因究明もいまだなされていません。時に大飯原発の場合は災害対策も十分でなく、政府の求める基準でさえ、数年後でないと具体化されません。しかし地震はいつ起こるのかわからないのです。大飯原発及び他の原発の再稼働、核燃料サイクル事業の即時中止を求めます。

2. 海外への原発輸出の停止と使用済み核燃料の海外での埋蔵計画の破棄を求めます

フクシマ事故の原因究明もなされないまま、ヨルダンやヴェトナムなどに海外への原発輸出を日本の国会が承認したことに私たちは驚きを隠しきれません。「海外からの要請」があったことを理由にしていますが、原発の輸出及び使用済み核燃料の海外への持込み・埋蔵計画を完全に破棄するべきです。

3. 公聴会の開催を求めます

フクシマ原発事故の事故調査委員会の最終報告書が出された後にも、政府の委員会だけでこれを処理するのではなく、国民に対して公聴会の開催を求めます。またさらに、上記がなされた後にも、全国どの原発の再稼働についても、最低限100km圏内の各自治体で公聴会が開催され、その上で住民投票によって是非が決められるべきであり、全自治体の合意なしに再稼働すべきではありません。

2012年4月24日

原発体制を問うキリスト者ネットワーク(CNFE)
共同代表：鈴木怜子、崔勝久、内藤新吾